

おかもと陽子通信

公明党 宗像市議会議員

連絡先

〒811-4163

宗像市自由ヶ丘7-6-1

TEL & FAX : 0940-25-5344

<http://www.okamoto-youko.jp/>



ホームページQRコード

おかもと陽子略歴

- 1959年 6月17日山口県徳山市生まれ
- 1978年 私立 中村女子高等学校卒
- 1981年 九州大学医療技術短期大学部看護学科卒
- 1982年 同上 助産学特別専攻卒
- 1982年 日立製作所付属病院勤務
- 1983年 九州大学医学部付属病院勤務
- 1999年 宗像市健康づくり課勤務（非常勤）
- 2004年 ママと赤ちゃんの相談室“安暖手”開院
- 2006年 福岡看護専門学校勤務
- 2012年 福岡看護専門学校退職
- 2012年 宗像市議会議員選挙 初当選 現在2期目

役職	●地域サポート委員長	所属委員会	●社会常任委員会委員長 ●議会運営委員会副委員長
----	------------	-------	-----------------------------

おかもと 陽子

通信



2020
VOL.29

6月度定例会報告

- 一般質問
- 宗像市

新型コロナウイルス感染症対策

守りたい・あなたの生命生活を！

一般質問



コロナ禍で自粛ムードの中、一般質問すべきか迷いましたが、市民の声を届けるのが議員の役割と考え質問しました。時間を55分から30分に短縮。これからも市民の声の代弁者の役割を果たしてまいります。

《新型コロナウイルス感染症第2波から医療、介護、障がい者に関わる人を守る》

新型コロナウイルス感染の第2波への対策は必要である。人との濃厚接触が避けられない病院や介護、障がい者福祉・保育施設等でのクラスターは防がなければならない。これらの場所に関わる人を第2波から守るために、感染症予防、経済的支援の2つの側面から迅速に対応策を考えておく必要がある。

問 医療・介護従事者への経済的支援をすべきではないか？

答 県が医療従事者等への慰労金として5万から20万円を支給する予定である。

問 新型コロナウイルス感染症の影響で減収した医療機関について財政的支援を行う必要があると思うがどう考えるか？

答 まずは、国や県の持続化給付金、宗像市小規模事業者緊急支援金の活用をお願いしたい。

問 PCR検査のさらなる検査場所、人員確保は？

答 宗像医師会に対し、設置を要望し協議した結果、6月下旬を目途に開設する予定となった。

新型コロナ対策に全力で取り組んだ、宗像市 補正予算で取り崩した財政調整基金8億5千万円 特別定額給付金(1人10万円)6月18日現在で約95%に振込済

これまでの支援策(第1弾～第5弾)【国の補正予算以外に、市財政調整基金、ふるさと基金を活用】

【第1弾】税理士や中小企業診断士等による個別相談窓口の設置/宗像市緊急経済対策資金利子補給補助金/#宗像エール飯の情報発信【第2弾】宗像市小規模事業者緊急支援金(売上▲15%以上の小規模事業者等に30万円)の創設/宗像市中小企業小口事業資金の借り換えに伴う保証料補助金の返還免除/税理士や中小企業診断士等による個別相談窓口の設置延長/#宗像エール飯の取り組み強化/失業者や休業者等を対象とした臨時職員の緊急雇用【第3弾】宗像市ひとり親世帯応援金(児童扶養手当受給1世帯に月3万円)/宗像市子育て世帯応援金(児童手当対象児童1人に月1万円)/児童生徒1人1台タブレット端末の整備・全教室Wi-Fi整備・緊急時オンライン学習環境整備/宗像市小規模事業者緊急支援の増額補正/住居確保給付金の増額補正【第4弾】高齢者施設等特別支援金(対象の福祉施設10万円)【第5弾】販売額5億円、プレミアム率20%プレミアム付き商品券発行/学校再開、指定費難所における感染症対策/子育て支援の生活支援(金銭的に苦しいひとり親世帯、家計急変し児童扶養手当受給者と同等水準1世帯5万円、第2子3万円、収入減児童扶養手当受給世帯1世帯5万円)

2期目4年間の活動を振り返る

OKAMOTO'S PHOTOBOOK



警固公園にて児童虐待防止街頭演説実施

毎年10月、がん検診受診啓発のため市内でビラ配布、街頭演説実施



宗像市民とともに「ホスピスを開かれたものにするために」の要望書を厚労省に提出



自由の森遊歩道のボランティアに参加



北部九州豪雨の際、市民の方と災害支援に。熱中症で倒れる人続出

1人の声を大切にする公明党！！

【様々届いた市民の声】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言が発令。私たち議員も自粛生活が迫られました。オンライン市民相談に切り替え、この4か月で72件の相談。そのうち37件は新型コロナウイルス感染症に関する相談でした。「休業補償がないため、この先どうすればよいのか。」一人暮らしの後期高齢者は、「緊急小口資金借りたいけど、それも借財。この年になって借金は抱えられない。」「第2波が来たら、経営は難しいかも。」など本当に切実な声でした。公明党市議団としても、4月17日と5月7日の2回、市長への緊急要望を行い、第1弾～第3弾の補正予算に盛り込まれました。「緊急事態宣言」の全国展開を受け、公明党山口代表は安倍首相に直接会い「一人当たり10万円を所得制限なしで一律に給付」の決断を得ました。「本当に助かった。」多くの市民からの声が届きました。